

令和5年度重点目標の評価

令和5年度 重点目標	妊娠期からの切れ目ない支援を更に充実させていきます。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期の方へ情報を届ける方法、仕組みを検討します。 ・妊娠期に参加できる講座(両親教室等)を区と拠点、地域ケアプラザで開催します。 ・産後の生活がイメージできるような妊娠期向けの講座(体験会等)を実施します。また、地域でも妊娠期向けの取り組みを広げていきます。 ・性別に関係なく育児に取り組んでいる人同士がつながるような取り組みを実施します。
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・以前よりつながりを持っていた産院に継続的に情報を届け、関係性の強化を行いました。また、今までつながりのなかった産院や、母子訪問員などの定例会にも出向き拠点の役割を広く知ってもらうことができました。それにより、妊娠期の方や産後間もない方が拠点に来所するきっかけにもなりました。 ・区や拠点、地域ケアプラザで開催した両親教室で、妊娠期の方へ拠点の説明や妊娠期から利用できる地域の施設について紹介しました。 ・初めての取り組みとして、以前より妊娠期の方から要望のあった「ミルクづくり体験」を開催しました。先輩家族との交流や体験を通して、産前に知っておいてもらいたい赤ちゃんの泣きや一日の生活リズムなどのイメージをもってもらえる機会となりました。 ・「父親同士で子育て中の悩みや生活について共有する機会がない」という当事者の声を受け、地域の人々と子育て当事者が気軽につながる場についての検討を、当事者主体で始めました。
取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・両親教室など受講するタイミングが決まっている事業について、妊娠期の方へ情報の周知が難しいことです。 ・産前産後の取り組みを区、拠点、地域ケアプラザで開催しましたが、周知の方法等の更なる検討が必要だと考えます。

令和5年度 重点目標	都筑のまちで安心して自分らしく子育てができるよう、多様な価値観をもつ人々や多世代の人との出会いの場や機会の創出をおこないます。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・Tsuzuki International Friendship(TIF)等、他団体と連携し日常では接点を持ちにくい多様な人々をつなぐ機会をつくります。 ・学生ボランティアやインターンシップの受入れをおこない、子育て当事者との交流の場づくりや、好きなことや得意なことを活かし、相互に理解が深まるような機会づくりをおこないます。
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・Tsuzuki International Friendship(TIF)発足記念イベントとして、今年度初めてDE&Iフェスティバルを開催。Diversity(多様性)、Equity(公平性)、Inclusion(包括性)の概念を柱に、多様な人の参加と外国につながる方のある方の活躍の場となりました。また、開催をきっかけに区内の県立高等学校や商店街連合会、青少年指導員連絡協議会、障害者事業所ネットワーク、企業等との連携・関係構築や、都筑区役所の複数の課との連携をとることもできました。 ・短期インターンシップ生や「はあとdeボランティア」、ヤマトつながるプロジェクト、その他ボランティア等の受入れを積極的におこないました。インターンシップ生が企画したイベントの開催や、ボランティア「ポポ☆メイト」の親子工作を実施するなど、子育て中の親子との交流の場を設け、相互理解の機会をつくることもできました。 ・多様な価値観の学びの場(都筑多文化・青少年交流プラザ(つづきMYプラザ)との合同研修/やさしい日本語講座)を設けることで、多様性への理解が更に深まり、業務に生かすことができました。
取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・他団体や企業との連携をさらに深め、日常では接点を持ちにくい多様な人々をつなぐ機会を更に作っていくことが必要です。 ・引続き多世代の様々な人たちとの相互理解が深まるように、地域に出向いて行く等、機会の場を増やしていくことが必要です。 ・多様な価値観を学ぶ場が、更に必要だと考えます。